



2026年5月7日

各位

会社名 株式会社 T O R I C O
代表者名 代表取締役社長 安藤 拓郎
(コード番号：7138 東証グロース市場)
問合せ先 専務取締役 鯉沼 充
(TEL. 03-6261-4346)

ターゲットバイイング戦略 (Cash Secured Put) 開始のお知らせ

株式会社TORICO（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：安藤 拓郎、以下「当社」）は、2026年2月12日付で開示いたしました「SBI VC トレード株式会社との協業開始に関するお知らせ」でお知らせしたとおり、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾 吉孝）の連結子会社で暗号資産交換業を営むSBI VCトレード株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：近藤 智彦）との間で、イーサリアム（ETH）取引・保管・運用における協業を開始しております。

当社はこれまで同社との連携のもと、十分な流動性が確保された取引環境において安定的かつ段階的な暗号資産の取得を進めてまいりました。今般、この協業の一環として、当社が推進する「稼ぐトレジャリー（DAT 2.0）」事業モデルをETH取得段階にまで拡張し、円資金からETHへ転換する取得プロセスそのものから収益を獲得することを目的として、同社と連携してターゲットバイイング戦略（Cash Secured Put）を開始したことをお知らせいたします。

1. 戦略概要

項目	内容
目的	1. ETH取得段階におけるオプションプレミアム収益の獲得 2. 取得コストの実効的抑制 3. 円資金から現物ETH取得までのプロセスにおける収益機会の創出
手法	ETH プットオプションの売却 プットオプションの売却とは、あらかじめ定めた価格でETHを取得する義務を引き受ける代わりに、オプションプレミアムを受け取る取引です。
行使価格	市場価格付近の行使価格を中心とした運用を基本としつつ、ETHの取得ペースおよびオプション市場環境を踏まえ、市場価格より低い水準も機動的に組み合わせて運用
満期	1週間を基本とし、市場環境および収益機会に応じて延長
形式	満期日にのみ権利行使の判定が行われるオプション形式（ヨーロピアン形式）
建値通貨	ETH/JPY
決済資金通貨	JPY
カウンターパーティ	SBI VCトレード株式会社（SBIホールディングス株式会社連結子会社）

※ヨーロピアン形式とは、満期日にのみ権利行使の判定が行われるオプション形式です。早期行使リスクがないため、満期日までの損益管理および資金管理の予見可能性が高い点が特徴です。

※上記の運用パラメータは初期段階の基本設計であり、オプション市場環境、ETH価格動向、当社の取得進捗およびリスク・リターン観点から、当社の判断により機動的に調整いたします。当該調整は、本戦略の趣旨である「ETH取得段階における収益化」の範囲内で実施するものであり、戦略の本質的変更を伴うものではありません。

2. 本戦略採用の背景

(1) イーサリアム (ETH) 取得プロセスそのものの収益化

当社は、イーサリアム・トレジャリー企業として、ETH保有量の拡大および取得後のETHを活用した収益化に取り組んでまいりました。

本戦略では、現物ETHの購入に加え、ETHプットオプションの売却を組み合わせることで、ETH取得プロセスそのものにオプションプレミアム収益の獲得機会を付加いたします。これにより、取得後のETHを活用した収益化に加え、取得段階においても収益機会を創出し、トレジャリー運用全体の資本効率向上を図ります。

また、満期時にETH価格が行使価格を下回り、行使価格でETHを取得した場合には、受領したオプションプレミアムを考慮することで、実質的なETH取得コストは、行使価格からプレミアム相当額を差し引いた水準となります。これにより、ETH取得段階における収益獲得と、取得コストの実効的な低減を同時に図ることが可能となります。

(2) オプション市場の構造的特性の活用

ETHオプション市場では、価格変動リスクに対するヘッジ需要やボラティリティ水準等を背景に、オプションプレミアムが形成されます。

プットオプションの売却は、当該プレミアムを収益機会として活用する手法の一つです。当社は、SBI VCトレード株式会社から提示されるオプションプレミアムおよびその前提となるインプライド・ボラティリティ (IV) について、海外主要デリバティブ市場におけるIV、実現ボラティリティ (RV)、ならびに当社の現物ETH取得計画を総合的に勘案し、ETH取得段階における収益機会として本戦略を活用してまいります。

(3) 行使価格の設計方針

行使価格を市場価格付近に設定する場合、ETHの取得確率が相対的に高く、取得ペースを重視する局面に適しています。一方、行使価格を市場価格より低く設定する場合、プレミアム水準は低下するものの、より低い価格水準でETHを取得できる可能性があり、ETH取得が一定程度進捗した局面に適しています。

当社は、ETH取得進捗、プレミアム収益、価格変動リスクおよび現物ETH取得方針のバランスを継続的に評価し、行使価格の最適な組み合わせを判断してまいります。

3. オプション運用戦略の設計

当社が新規に調達する円資金については、その時点の市場環境、ETH価格、ボラティリティ水準、SBI VCトレード株式会社から提示されるインディケーション（参考価格）、および当社のETH取得進捗を総合的に勘案し、現物ETHの購入と本戦略への配分を当社の判断により決定いたします。

具体的には、以下の手法を組み合わせ、ETH保有量の計画的な拡大と取得コストの実効的な抑制を図ります。

- 現物ETHの即時購入
- 週次オプション売却に係る決済資金への配分

本戦略への配分を行う場合、当社は、あらかじめ円資金を口座に入金したうえで、ETHプットオプションを売却します。満期時に市場価格が行使価格を下回り、オプションが行使される状態となった場合には、行使価格でETHを取得し、当該ETHを当社トレジャリーに組み入れます。

一方、オプションが行使されない状態となった場合には、拘束されていた円資金を回収し、受領したオプションプレミアム収益とあわせて、翌週以降のオプション売却または現物ETH購入に再配分いたします。

4. 本戦略のリスク

(1) ETH 取得後の価格変動リスク

オプション行使により ETH を取得した後、ETH 価格がさらに下落した場合には、取得した ETH の評価額が取得価格を下回る可能性があります。ただし、当社は取得した ETH をトレジャリー資産として中長期的に保有・活用する方針であり、本戦略は短期的な売買損益の獲得を目的とするものではありません。また、取得時に受領済みのオプションプレミアムは、実質的な取得コストの低減に寄与します。

(2) ETH 価格上昇時の取得機会逸失リスク

ETH 価格が大きく上昇した場合には、プットオプションが行使されず、現物 ETH の購入機会を一時的に逃す可能性があります。この場合、現物 ETH を即時に購入した場合と比較して、価格上昇局面における ETH 保有量の拡大機会を一部逸失する可能性があります。

一方で、当該局面においてもオプションプレミアムは収益として確保されるため、取得価格の規律を維持しつつ、ETH 取得段階における収益機会を確保することが可能となります。また、週次でオプション売却を継続することにより、時間の経過とともに ETH 取得機会の分散化を図ります。

5. 今後の見通し

本戦略による当社業績への影響は、市場環境、ETH価格、ボラティリティ水準、取引規模および現物ETHの取得状況等により変動いたします。今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

■ SBI VC トレードについて

SBI VC トレードは、「暗号資産も SBI」のスローガンのもと、国内最大級のインターネット総合金融グループである SBI グループの総合力を生かし、暗号資産取引におけるフルラインナップサービスを提供しております。暗号資産交換業者・第一種金融商品取引業者・電子決済手段等取引業者として高いセキュリティ体制のもと、暗号資産の売買にとどまらない暗号資産運用サービスや法人向けサービスの展開、さらにステーブルコインのユーエスディーシー (USDC) の国内初の取扱い開始など、「顧客中心主義」に基づく革新的なサービス・ビジネスを創出してまいります。

公式サイト：<https://www.sbivc.co.jp/>

X (旧 Twitter)：https://x.com/sbivc_official

以 上